

科目名 (科目番号)	国際関係論 (083831)	教員名 竹内 恒理	学科等	学部共通・選択	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割参照	単位数	2
			オフィスアワー			
授業概要	「国際関係論」は20世紀前半に生まれた、比較的新しい学問であり、その究極目的は国際平和の構築にあるが、現実の冷徹な国際社会も踏まえる必要がある。本講義では、国際関係に関する基礎的な知識を身につけ、自分なりの国際的な見方が築けるように、ケース・スタディを中心として国際関係を見ていく。					
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。					
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容			
	1	国際関係論の成立	到達目標:国際関係論がどのように発展してきたかについて考察する。 学習内容:国際関係論がどのような背景で成立したかを学ぶ。			
	2	国際関係の主体1	到達目標:国民国家(nation-state)はどのように成立したかを解説できる。 学習内容:国民(nation)はどのようにして生まれたかを理解する。			
	3	国際関係の主体2	到達目標:国連などの役割を説明できるようにする。 学習内容:国連などの国際機関などがどのような役割を持っているのかを理解する。			
	4	国際社会の特徴1	到達目標:国際社会は無秩序であることを考察させる。 学習内容:国際社会の特徴はどのようなものかを理解する。			
	5	国際社会の特徴2	到達目標:日本も西欧的国家システムに巻き込まれていった過程を説明できるようにする。 学習内容:西欧的国家システムはどのように成立、拡大していったかを理解する。			
	6	世界システム論	到達目標:世界システム論からみたアメリカの実態を説明できるようにする。 学習内容:ウォラシーシュタインが唱えた世界の歴史のとらえ方を紹介する。			
	7	核兵器の拡散	到達目標:核兵器の危険性について説明できるようにする。 学習内容:国際政治上、核兵器の存在がどのような意味を持つかを理解する。			
	8	朝鮮半島情勢	到達目標:日本にとって北朝鮮がどのような脅威となるか説明できるようにする。 学習内容:現在の朝鮮半島情勢はどのようにして生じてきたか理解する。			
	9	インドとパキスタンの核保有	到達目標:特にパキスタンからの核の拡散を説明できるようにする。 学習内容:核兵器を非合法で保持し、対立する両国の危うさについて理解する。			
	10	超大国アメリカ	到達目標:日本と中国に与えるアメリカの影響について説明できる。 学習内容:トランプ大統領が率いるアメリカの持つ危うさについて理解する。			
	11	中国	到達目標:中国の変貌ぶりと世界に与える影響力を説明することができる。 学習内容:経済成長が著しい中国の現実はどのようなものかを理解する。			
	12	中国とインド	到達目標:日本と中国、インドとの関係はどのような可能性があるのかを説明できるようにする。 学習内容:アジアにおける中国とインドは今後どのような道を選択するのか理解する。			
	13	人口問題と食糧危機	到達目標:人口増大に伴って食糧危機がどのようなかたちで現れるか説明できるようにする。 学習内容:アフリカ、アジアなど世界の人口がどのような速度で増大するかを理解する。			
	14	国際協力	学習内容:国際協力はどのようにして必要なかを理解する。 到達目標:国際協力がなぜ必要なか説明できるようにする。			
15	最近の日本を取り巻く情勢	到達目標:日本に影響を与える最近の中国、ロシア、アメリカの動きについて説明できる。 学習内容:日本を取り巻く国際情勢について理解する。				
成績評価の方法・基準	試験の成績(100%)によって評価する。					
教科書	『国際関係学 講義 第5版』		原彬久[編]		有斐閣	
参考図書	『国際関係入門』		佐藤英夫 編		東京大学出版会	
教員からのメッセージ	皆さんの理解度を見ながら講義内容を変更することもあります。高校時代に使用した世界地図帳を使用しますので、是非用意しておいて下さい。					